

- ① 高齢者比率が最も高い。  
 ② 公共交通（鉄道・バス）利用圏域のカバー率が最も低い。

都市交通課作成

■ 中学校区比較

中学校区	①高齢者比率 (低い方が上位)	②公共交通 利用圏域率	③利用圏域内 主要施設立地率
富士松	21.7% (6位)	58.8% (6位)	76.6% (6位)
雁が音	16.0% (1位)	71.7% (5位)	84.6% (4位)
刈谷東	18.1% (3位)	76.0% (4位)	83.3% (5位)
刈谷南	18.0% (2位)	94.1% (1位)	93.0% (1位)
依佐美	21.2% (5位)	78.3% (3位)	85.7% (3位)
朝日	19.0% (4位)	86.8% (2位)	87.9% (2位)
平均	19.0% (平均)	77.6% (平均)	85.4% (平均)

①：H27 国勢調査より

②：鉄道駅から半径 800m、バス停から半径 250mを公共交通利用圏域とした場合

③：公共交通利用圏域内の主要施設（医療・商業・教育・高齢福祉施設等）立地状況

②公共交通（鉄道・バス）利用圏域のカバー率が最も低い。

(2) 公共交通（鉄道・バス）のカバー率

公共交通のカバー率

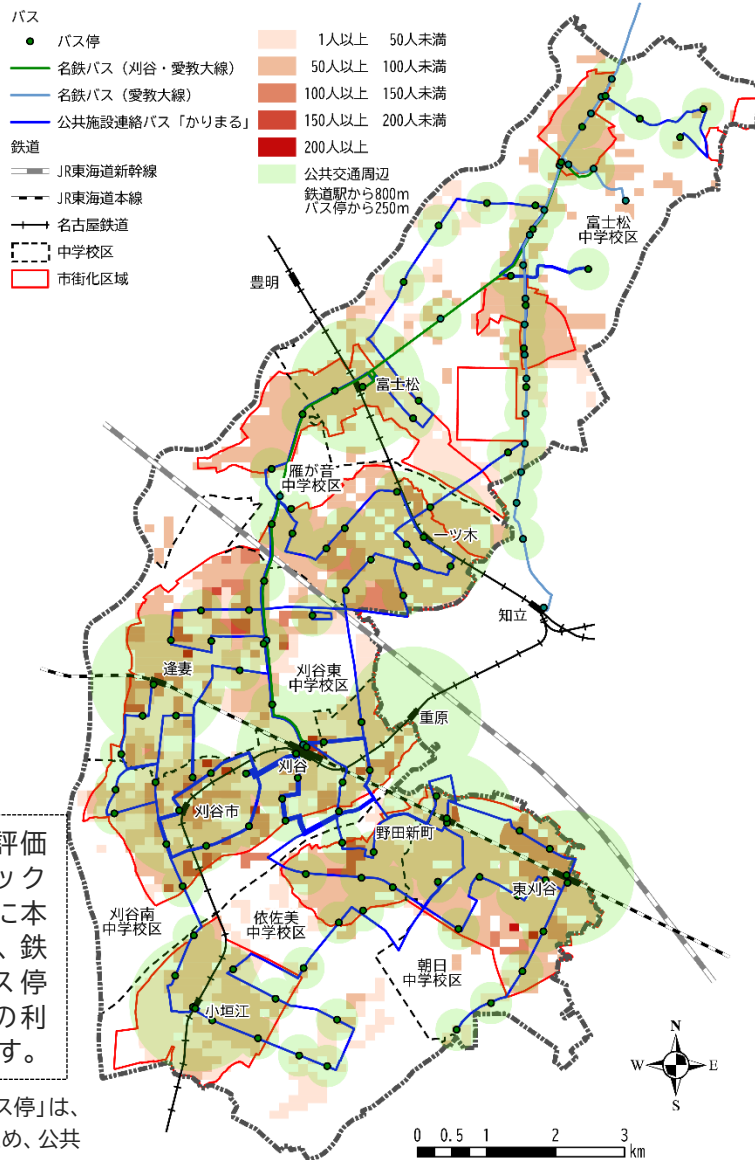
- 一般的な徒歩圏域を鉄道駅から 800m 以内またはバス停から 250m 以内のエリアと設定した場合、地域公共交通の利用圏域人口は約 117 千人となり、公共交通（鉄道・バス）のカバー率は、78.0%となります。

【公共交通カバー率とは】

・公共交通カバー率とは、総人口あたりの公共交通（鉄道・バス）利用圏域に含まれる人口割合です。

$$\text{公共交通（鉄道・バス）の利用圏域人口} \div \text{総人口} \times 100 = \text{公共交通カバー率（\%）}$$

区分	人口（人）	カバー率（%）
公共交通（鉄道・バス）利用圏域	116,240	77.6%
公共交通（鉄道・バス）利用圏域外	33,499	22.4%



「都市構造に関する評価に関するハンドブック（国交省）」を参考に本市独自の指標として、鉄道駅（800m）・バス停（250m）で公共交通の利用圏を設定しています。

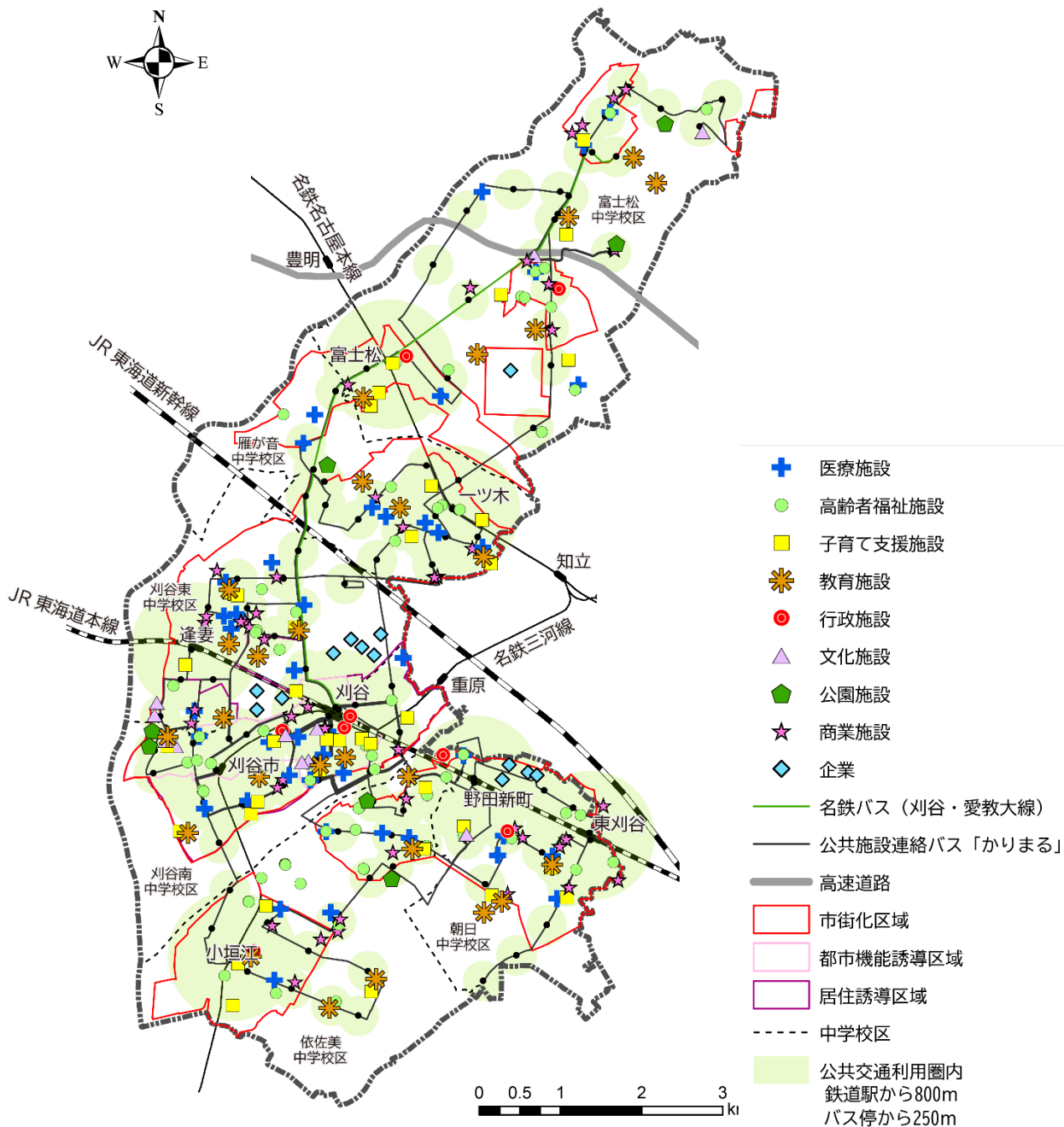
※「愛知教育大学附属高校前バス停」は、朝1便の降車のみ利用のため、公共交通利用圏外とする。

資料：国勢調査、国土数値情報

### (5) 主要施設の立地状況

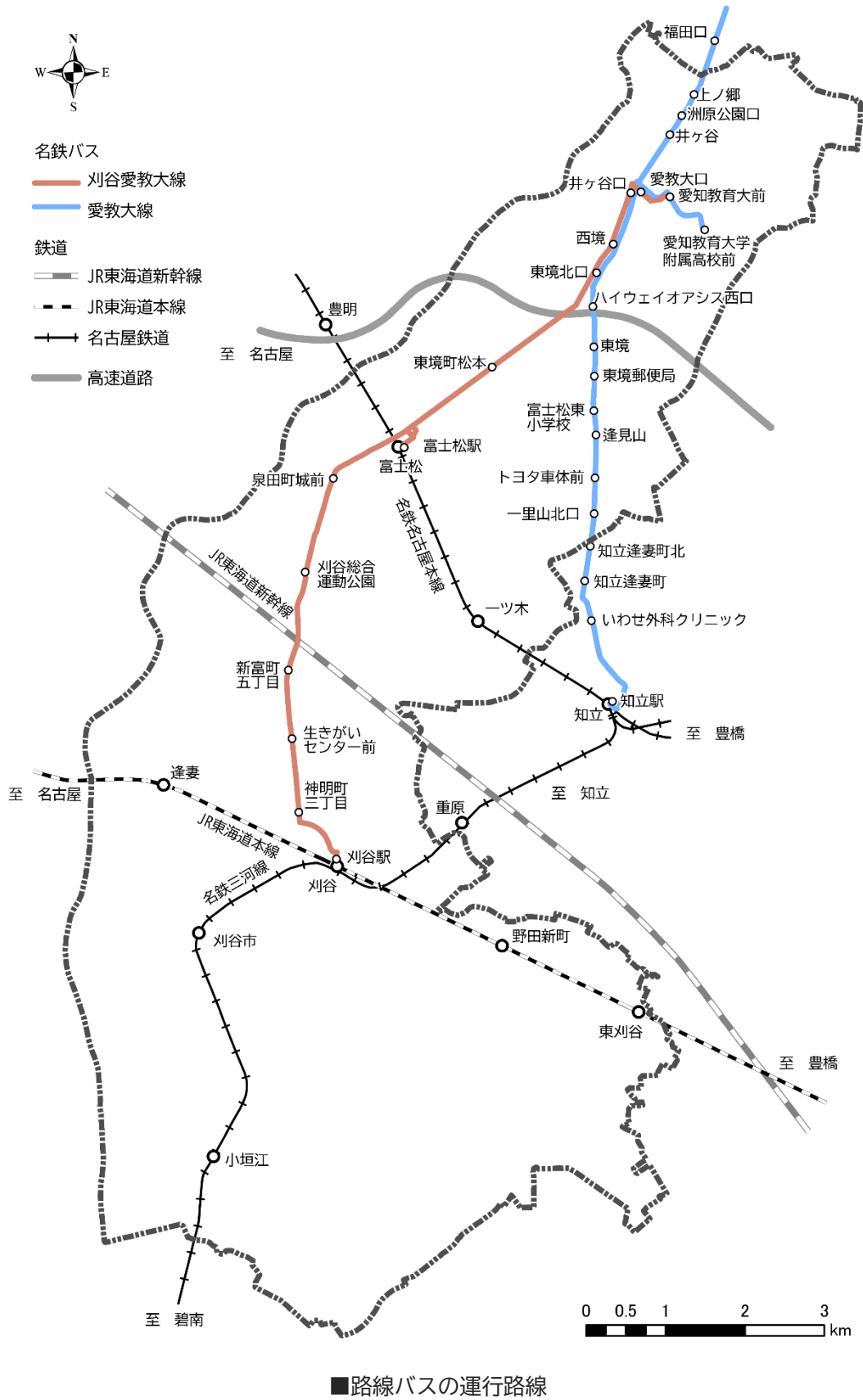
#### ■ 主要施設の立地状況

- 医療施設や商業施設など、市域内外からの利用が想定される施設は市街化区域全域に立地しており、特に刈谷駅周辺で充実しています。
- 子育て支援施設や教育施設、高齢者福祉施設などの日常的に利用する身近な施設は、市内全域に広く立地しています。

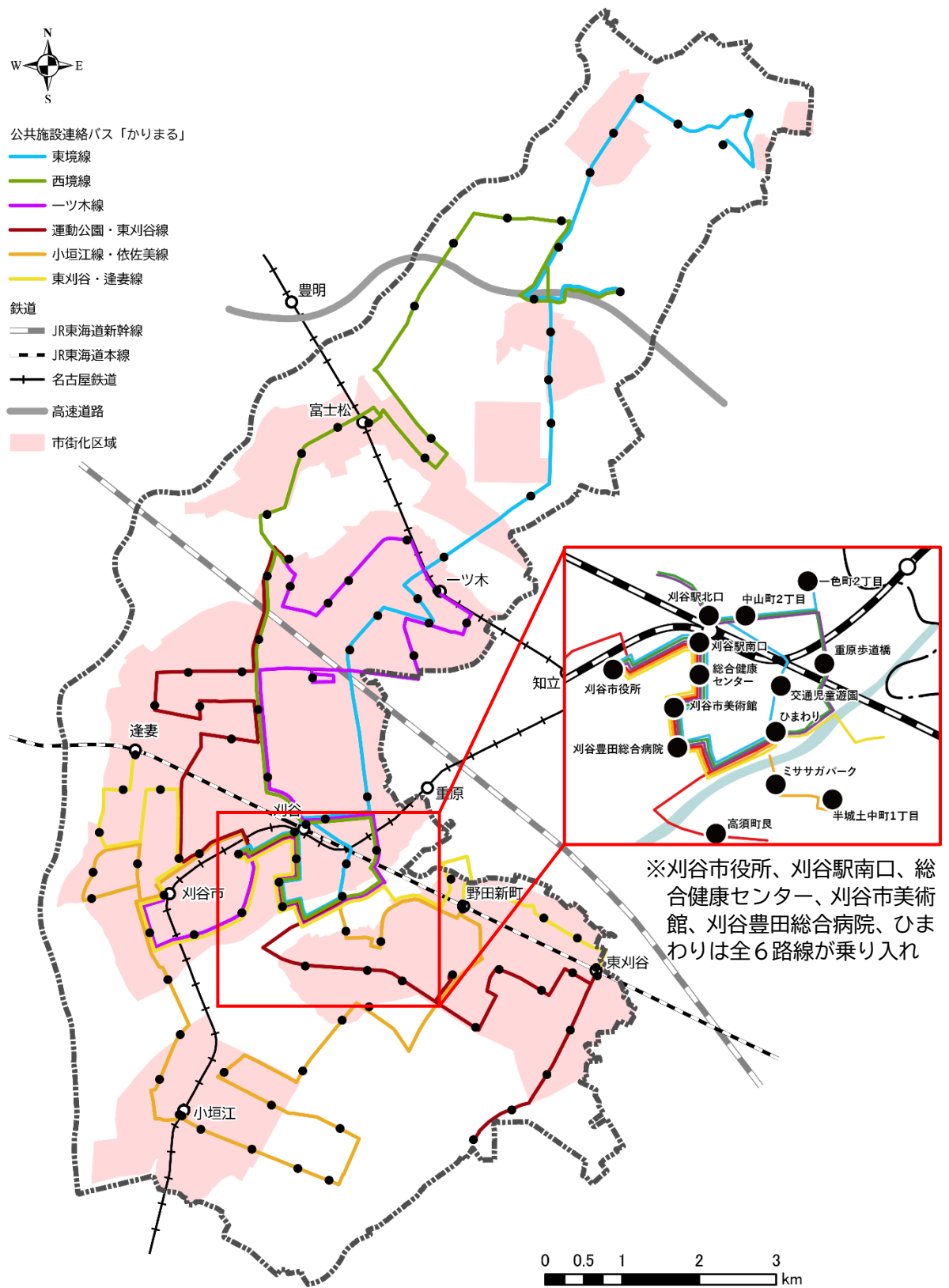


■ 主要施設の立地状況

④国道1号以北は南北を移動するバス路線のみで、東西を移動する公共交通がない。



④国道1号以北は南北を移動するバス路線のみで、東西を移動する公共交通がない。



■「かりまる」の路線図

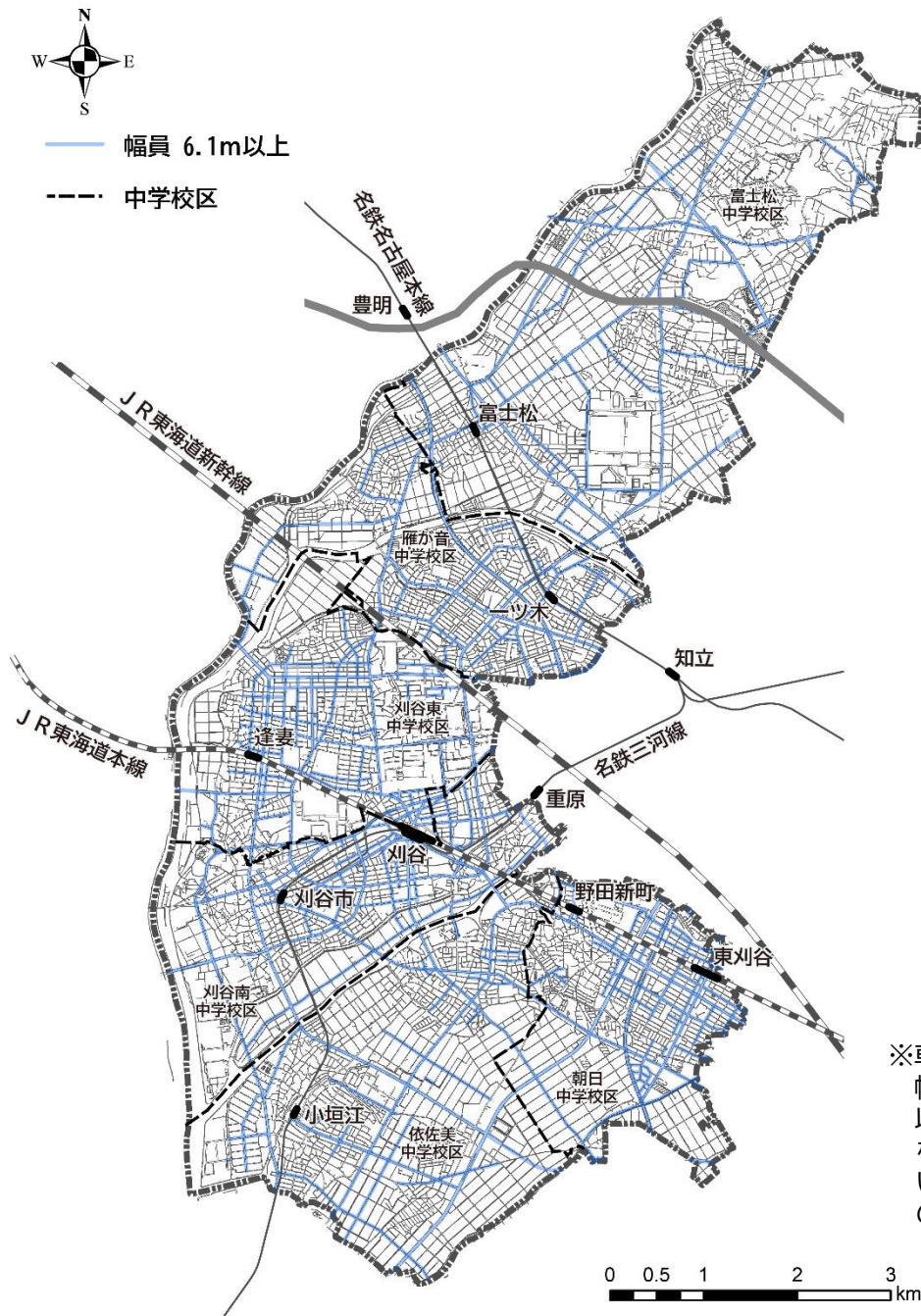
資料：都市交通課



⑤生活道路は狭あい道路が多く、大型車両の運行が難しい。

■ 「かりまる」が走行できる道路

- 刈谷東中学校区及び刈谷南中学校区では、「かりまる」の相互走行が可能な道路（幅員 6.1m 以上）が充足している一方、富士松中学校区では生活道路において狭小道路が多く、「かりまる」の走行が困難な道路の道路が多く見られます。
- 野田新町駅の南側、小垣江駅の北西側、刈谷市駅の西側などでは狭小道路が偏在していることから、「かりまる」の走行が困難な地域となっています。



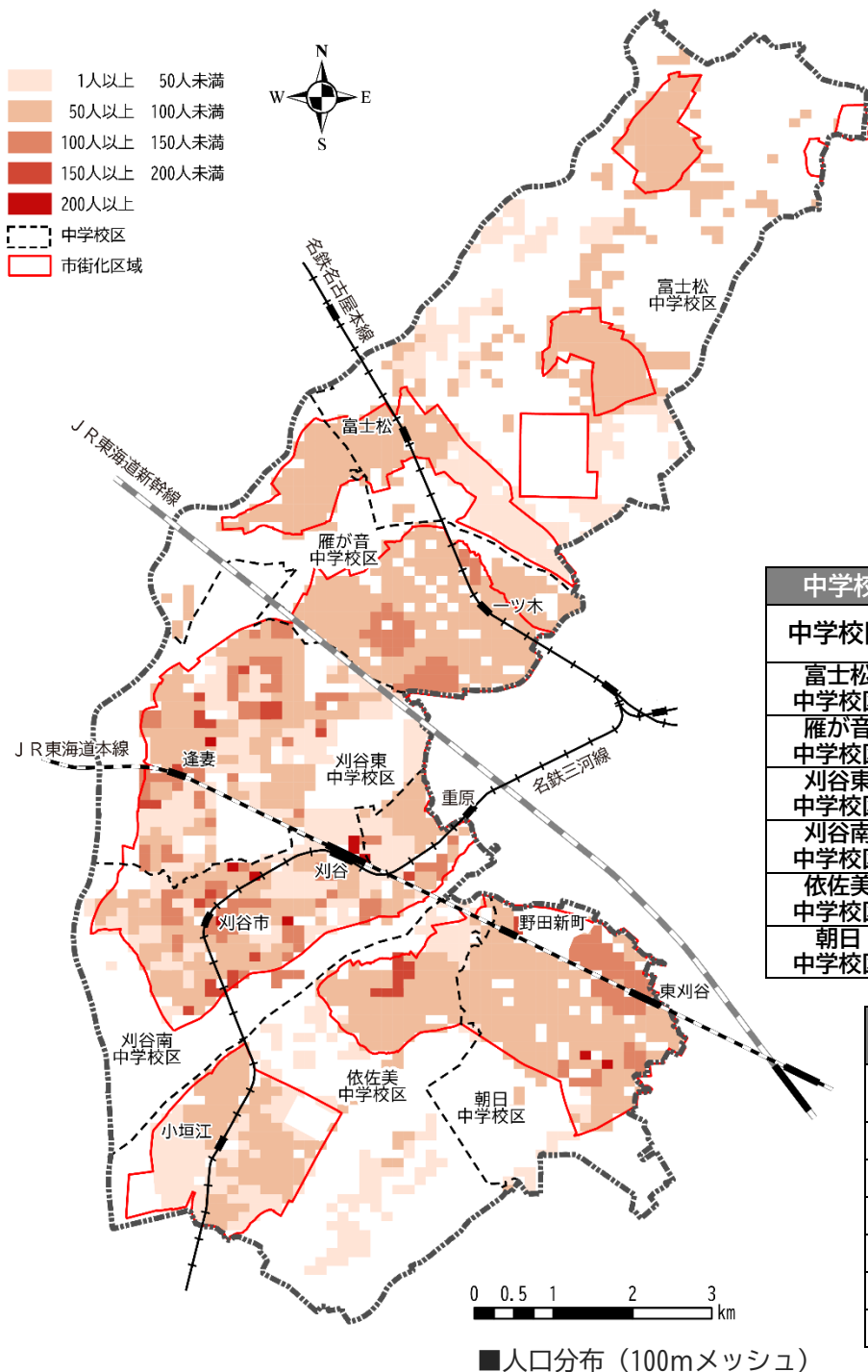
※車両制限令に基づき、道路台帳及び認定路線網図より 6.1m 以上の道路を抽出。  
なお、具体的な道路幅員については、現地の状況によるものとする。

■ 「かりまる」が走行できる道路

⑥人口密度が低く、既存集落が多く点在している。

人口分布（100mメッシュ）

- 人口分布（100mメッシュ）をみると、北部の富士松中学校区を除いた中学校区において、市街化区域を中心にまとまった区域で居住しています。
- 中学校区別で人口集積や高齢者（65歳以上）比率が異なっており、富士松中学校区や依佐美中学校区では高齢者比率が20%を超えています。



中学校区	面積 (ha)	人口 (人)	人口密度 (人/ha)
富士松中学校区	1,514.3ha	24,263人	16.0人/ha
雁が音中学校区	613.7ha	26,609人	43.4人/ha
刈谷東中学校区	724.8ha	24,881人	34.3人/ha
刈谷南中学校区	687.2ha	24,659人	35.9人/ha
依佐美中学校区	956.5ha	24,066人	25.2人/ha
朝日中学校区	542.0ha	25,261人	46.6人/ha

中学校区	高齢者人口 (人)	高齢者比率 (%)
富士松中学校区	5,263人	21.7%
雁が音中学校区	4,270人	16.0%
刈谷東中学校区	4,512人	18.1%
刈谷南中学校区	4,437人	18.0%
依佐美中学校区	5,114人	21.2%
朝日中学校区	4,798人	19.0%

## 5) タクシー

### ■ タクシーの現状

- タクシー事業者は、市内に2事業者があり、ドアツードアを可能とする個別輸送の移動手段として役割を担っています。
- 誰もが使いやすい車両として、普通車のみならず車いす専用車両などのバリアフリーに配慮した車両の導入が取り組まれています。
- 70歳以上の方で運転経歴証明書を提示すると利用料金が割引される、免許返納に関する取組が実施されています。
- 令和3年4月から身体、知的、精神障害者で障害者手帳を提示すると利用料金が割引される取組が実施されています。

#### ■ 市内のタクシー事業者（令和5年（2023年）5月時点）

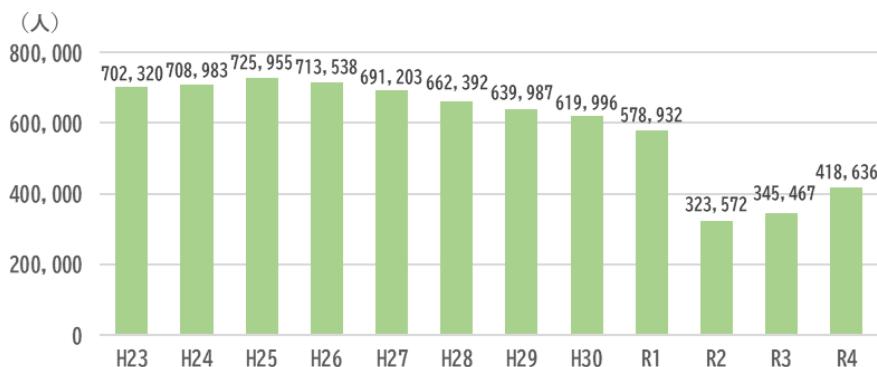
事業者名	所管営業所	車両数
刈谷交通株式会社	本社（大手町）	普通車：36台（うち、UD17台） 車いす専用：1台
大興タクシー株式会社	本社（神田町）	普通車：38台（うち、UD16台） 特定大型車：3台、車いす専用：2台 車いす・寝台兼用：1台

資料：刈谷交通株式会社、大興タクシー株式会社ホームページ



### ■ タクシーの利用状況

- タクシーの年間利用者数は平成25年度（2013年度）の726千人をピークに緩やかに減少傾向にありましたが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響から、令和2年度（2020年度）では324千人まで減少していますが、令和4年度（2022年度）は令和元年度（2019年度）と比べ約7割まで回復しています。



資料：愛知県タクシー協会、大興タクシー株式会社



## 1 都市構造の把握

### (1) 本市の地域区分

- 本市は6つの中学校区（富士松中学校区、雁が音中学校区、刈谷東中学校区、刈谷南中学校区、依佐美中学校区、朝日中学校区）で区分されています。

